

4

vol.56
APRIL
2002

大阪

「大阪人も知らない大阪」発見 Magazine

[インタビュー]

響 敏也

「こんな風に生きていいたら」

辻 久子

「おっちゃんには負けられへん」

桂 小米朝

「ベートーヴェンのピチカート」

大阪フィルハーモニー交響楽団・楽員

朝比奈親方へ

[寄稿] 岩野裕一 / 宇野功芳 /
粟飯原 真 / 木之下 晃

生前のインタビュー特別掲載!

「わが人生のタクトを振る」

特集

朝比奈 謙

森まゆみの大坂不案内

「京 橋」

[エッセイ] 土佐尚子

「近代大阪の人物誌・織田作之助」



私は、一九九五年から関西人になつた。

その前は東京に十年、さらにその前は、九州は福岡市で育つた。関西に来た当初、それはそれは「ミニニケーション」のすれ違いに困つた。福岡は、東京から関西を飛び越えて文化がやってくるので、福岡から東京に行つた時は、コミュニケーションに困ることはなかつた。東京人や福岡人のコミュニケーションは「直接的」、それに対して関西は「間接的」なのだ。言葉に「変数」がかかっているといつてもよい。京大出身の関西の友人が言うには、この変数の理解度が関西人の知性なのだそうである。いや——これには参つた参つた。会話をしていて、全部本当の意味だとと思うので、なんであんなに嫌味を言つたり、のらりくらりとかわすのだろうなどとよく思つたものだ。私の場合、関西コミュニケーションに慣れるには三年かかった。今では、私は年に一度、東京の武蔵野美術大学で集中講義で教鞭をとるのだが、標準語に変な関西訛りが入つてしまい、講義中生徒から、「先生、言葉が変」とまで言われるようになつてしまつた。

さて、私は、関西学術研究文化都市に最初にできた国際電気通信基盤技術研究所(ATR)で、芸術コミュニケーション

ツッコミコンピュータ

エッセイ
土佐尚子

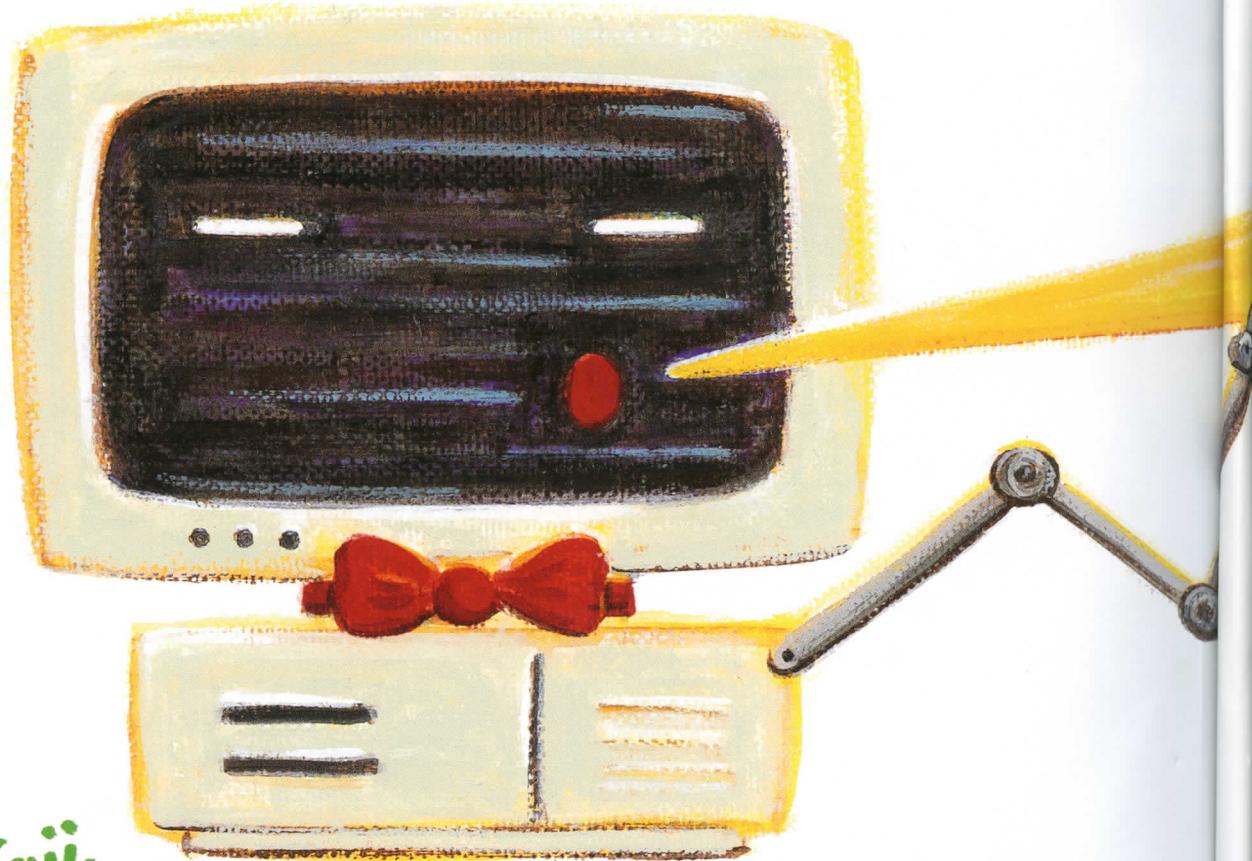


研究を始めるということで、招聘されて、研究員兼メディアアーティストになつた。この研究所は世界屈指の研究者が集まり、未来の情報通信の基礎研究に日夜勤しんでいるのだ。私は、ここで芸術の工学的転用を計り、コンピュータに人間の感性を教えることを研究している。関西人七年目にして関西人コミュニケーションの魅力にはまり、コンピュータに関西人の「漫才」の感性やノリを教える研究を吉本興業との共同研究で「インターラクティブ漫才」というコンピュータ漫才師システムを作つた。これは、ユーザーが、コンピュータ漫才師と対話をすると、コンピュータがユーザーの声の抑揚から「感情を認識」、話す言葉から「意味を認識」し、即座に突っ込んでくれる「ツッコミコンピュータ」なのだ。「ツッコミコンピュータ」のできることは漫才だけではない。将来コンピュータのオペレーションシステムなどに入つて、皆さんのが同じ操作の間違いをしそうになつた時、「何しとんねん」などと、我々はコンピュータに楽しく突っ込まれる未来がやつてくるかもしれないのだ。不愛想なコンピュータともおさらばである。吉本興業は、漫才の未来のひとつの形と言つている。自宅のプレステ2でインターラクティブ漫才ソフトを立ち上げて、スター漫才師との漫才、すでに天国におられる幻の漫才師とのインターラクションも楽しめる時代が来るかもしだれない。皆さんお楽しみに。

とさ・なおこ ● メディア・アーティスト

Koji.

イラストレーション 中田弘司



DYNASTIC HERITAGE OF KOREA
 大阪歴史博物館開館記念／NHK大阪新放送会館完成記念
 2002FIFAワールドカップ™開催記念
 日韓文化交流特別展

韓国の名宝

韓国最高の美術、日本初公開

한국의 명보

平成14年 3月16日土-5月6日日
 午前9時30分→午後5時

〈入館は午後4時30分まで〉休館日=毎週火曜日
 ※金曜日は午後8時まで 〈入館は午後7時30分まで〉
 観覧料／一般=1,200円(1,000円) 高生大生=900円(700円)
 前売券=チケットびあ、ローソンチケット、CNブレイガ
 イド、近鉄の主要駅・近鉄サービスネットの各営業所ほか
 主要プレイガイドでお求めになれます。

※()内は前売および20名以上の団体料金。※中学生以下は無料。
 ※大阪市民でツルのマーク付き健康手帳、敬老優待乗車証を、または
 携帯者手帳等をお持ちの方(譲り受け者名を含む)は無料。

- 主催／大阪歴史博物館、東京国立博物館、韓国国立中央博物館、NHK大阪放送局、NHKきんきメディアプラン
- 後援／外務省、文化庁、駐日韓国大使館、大阪府、在日本大韓民国民団大阪府地方本部
- 特別協力／2002年FIFAワールドカップ日本組織委員会 (JAWOC) ●協力/ANA、NCA、日本通運

お問い合わせ ハローダイヤル 06-4860-8600 [ホームページ] <http://www.mus-his.city.osaka.jp/> (大阪歴史博物館) <http://www.nhk.or.jp/osaka/kankokunomehou/> (NHK大阪放送局)
 中央:【国宝】金冠 5世紀 国立中央博物館 左下:【国宝】青磁透彫七宝文香炉 12世紀 国立中央博物館 右下:【宝物】菩薩立像 6世紀 国立中央博物館両端:円衫(部分) 19世紀末~20世紀初 宮中遺物展
 示館[展示期間 3/16~4/8] 上背景:【国宝】妙法蓮華経巻二(部分) 1373年 国立中央博物館[展示期間 3/16~4/8] 下背景:【宝物】八相願(第八双林涅槃相)部分) 1775年 通度寺聖宝博物館[展示期間 4/10~5/6]

大阪歴史博物館

Osaka Museum of History

T 540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32 TEL 06-6946-5728

